

アプリで事務作業効率化

内勤社員 空き時間に配送

【北海道】三和物流サービス(金子忠史社長、札幌市清田区)はSDGs(持続可能な開発目標)宣言を策定し、事業の中で取り組みを進めている。紙で行っていた事務処理などをアプリに切り替えることで資源の無駄遣いを減らすほか、大幅な作業効率化に成功。内勤の社員の1人が、空いた時間で配送を手伝えるようになった。社員の健康にも配慮し、栄養バランスの良い総菜をいつでも食べられるサービスを導入している。(朽木崇洋)

ルなど、SDGsに通じる事業を展開。取り組みを広く発信することで環境意識の高い層にアプローチし、認知度の向上を図っていく狙いがある。

新型コロナウイルス禍を機にペーパーレス化を推進。ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」や、計数管理用の「マネーフォワード」、クラウドに

よる勤怠管理システムなど、現在は約10種類のアプリを採り入れている。これにより、紙の消費量を削減できたほか、勤怠や経費をスムーズに管理できるようになり、レンタルやイベント関連事業を中心に業務の効率化に成功。それまで経理のみを担当していた社員



が、空き時間に2ト車で配送を手伝えるまでになった。

末光栄治専務は「事務処理にかかる時間は以前の10分の1以下に圧縮でき、導入費用や利用料を大きく上回るメリットが得られた」と話している。

このほか、労働環境の改善にも力を入れ、本社と帯

広(北海道帯広市)、旭川(旭川市)の両営業所で働きやすい職場認証(運転者職場環境良好度認証)を2021年4月に取得した。21年末からは、健康に配慮した野菜中心の総菜を安価に食べられる「オフィスでやさい」オフィスごはん」を利用している。

紙消費量を削減

北陸銀行のサポートを利用し、5月1日付で発表した。国連が示す17の目標のうち、「すべての人に健康と福祉を」「つくる責任つ

かう責任」「気候変動に具体的な対策を」など10項目を採り入れた。同社は運送事業のほか、清掃用品や子供用品、介護用品のレンタ



栄養バランスの良い総菜をいつでも食べられるサービスを導入